

## 被検者募集

### 臨床研究「体液中の細胞外 RNA を用いた神経変性疾患の新規診断法の開発」 について

筑波大学附属病院神経内科では、標題の臨床研究を実施しております。  
本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望する場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

#### ① 研究対象

50歳以上の日本人で体重40kg以上の方で、当院に通院中の筋萎縮性側索硬化症などの下記の神経変性疾患の方を対象とします。

- ・ 筋萎縮性側索硬化症
- ・ パーキンソン病
- ・ 大脳皮質基底核症候群（大脳皮質基底核変性症）
- ・ 進行性核上性麻痺
- ・ 脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を含む）
- ・ アルツハイマー型認知症
- ・ 前頭側頭型認知症
- ・ 血管性認知症
- ・ 正常圧水頭症
- ・ 本態性振戦
- ・ 上記いずれにも該当しない神経変性疾患

#### ② 研究の意義・目的・方法

筋萎縮性側索硬化症をはじめとする神経変性疾患では現時点で確立された診断バイオマーカーはなく早期診断が非常に難しい現状です。近年、血液や髄液などの体液中の RNA を指標としたバイオマーカーの検索に注目されています。我々は、実際の患者様の検体を使って、筋萎縮性側索硬化症の新しい検査法の実証研究に取り組みたいと考えています。この検査方法が確立されることで、筋萎縮性側索硬化症をはじめとする神経変性疾患が、早期に、少ない患者様負担で診断す

ること可能となり、多数の患者様に適切な医療を提供することが可能となると考えられます。

本研究では、上記疾患で通院中の方、また健康な方から血液検体や髄液検体をご提供頂き解析します。

なお本研究は新薬の安全性や有効性を調べる治験ではなく、血液・髄液の観察を目的とした研究です。

- ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年3月31日
- ④ 研究機関名・研究者名  
筑波大学医学医療系神経内科・保坂孝史/辻浩史
- ⑤ 保有する個人情報に関する利用目的  
研究のため得られた情報は全て匿名化した上で管理し、研究終了後は破棄します。同意がある場合は研究終了後も厳重に保管し、後続の研究に使用します。
- ⑥ 保有する個人情報の開示手続  
原則として開示可能です。
- ⑦ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先  
筑波大学医学医療系神経内科研究室  
〒305-8576 茨城県つくば市天王台 1-1-1  
所属・担当者名：神経内科・辻 浩史  
電話・FAX：029-853-3224（対応可能時間 平日9時～17時）